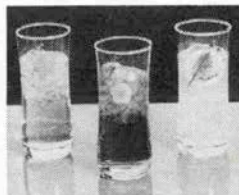


■酒特集(一)酒を愛する神戸っ子たち
ふあっしょんざけ

発信酒

灘五郷の

SAKEカクテル



KTFF では最優秀賞受賞(右)SAKEカクテルを大いにアピールする辰馬寛男理事長(左上)マイルドな口あたりが若い人に人気のSAKEカクテル(同下)

昨年11月の神戸トータルファッションフェアの閉会式でアツといわれたのが灘五郷酒造組合。出展社の表彰式で最優秀賞を受賞したのが同組合である。「その色と伝統を今日性まで高めた」がその評価。従来の麹色の強い清酒が爽やかに、またフルーティなカクテルとして登場したからだ。名付けて「SAKEカクテル」。

灘五郷お薦めブランドは「サムライロック」と「ピンクロック」。「サムライロック」は、日本酒にライムジュースを加えオンザロックで。「ピンクロック」は同じく克蘭ベリージュースで割る。麹の臭いがフルーティな香りで包まれる。

この仕掛けの向こうには酎ハイブームが見えてくる。日本全国に野火のように広がった酎ハイブームは軽薄短小時代の申し子。カフェバー、フットワークの軽い会話、嫌われるのはチビチビ飲む長つ尻。そんな時代に腰が重いと思われた清酒が巻き返しを図るのだ。

その周辺を灘五郷酒造組合(東灘区御影本町六一一九)の辰馬寛男理事長は「本来の清酒は幹。枝葉の部分をビギナー酒としての切り口にした」と意気込みを一気に語る。

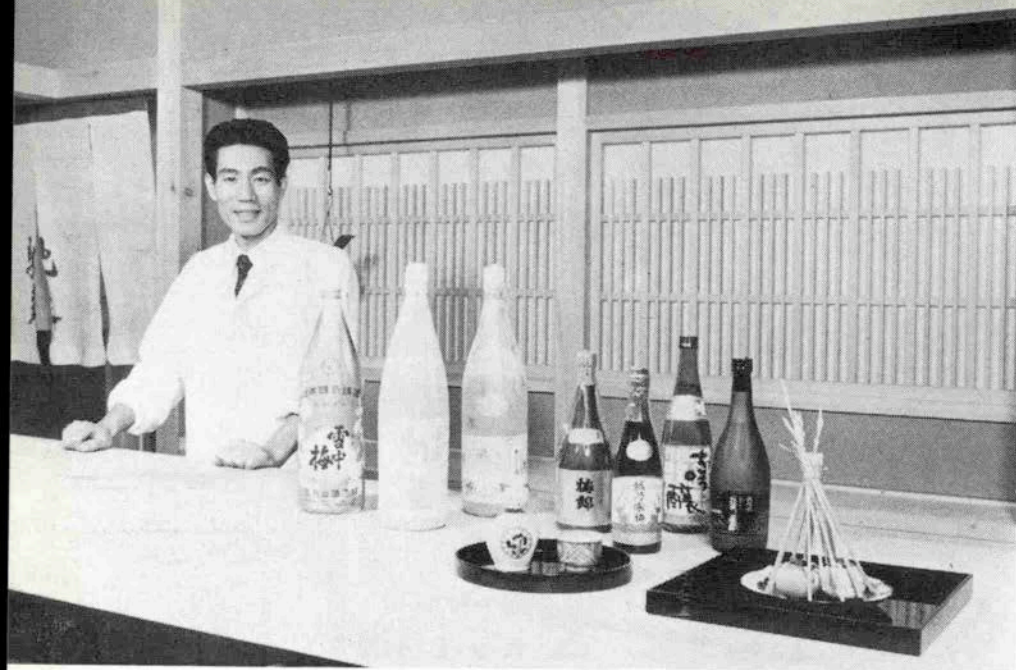
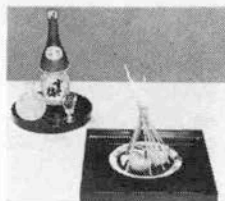
「レギュラーのアルコール度数は現在一級酒で15度。しかしソフト化志向に対応した8度の酒も出回らだしている。またSAKEカクテルのボトルも来春には許可がおりると思う。灘も各メーカーが同一歩調で頑張れば巻き返しも可能だ。今や国籍不明のアルコール飲料の時代ですな」と。混濁の時代だからカクテルがはやるのかもしれない。

「アナタ、今夜は冷やにします? 熱燗にします? それともSAKEカクテル?」。

■酒特集(1)酒を愛する神戸っ子たち
うん ちく ざけ

蘊蓄酒

「馳走」さんは 料理がひきたつ酒



幻の酒を前にご主人の半田博一さん。「灘のお酒も愛飲してますよ」料理に極めつけの酒を選ぶ

山本通り四丁目の懷石料理店「馳走」の店主、半田さんは「魚も野菜も時節の本物を吟味して料理する以上、醤油、米、塩等の調味料も本物を求めますし、その料理を盛る器も一点ずつ吟味します。だからこそ家庭でなく、料理屋まで来て頂く値打ちがあるんじゃないでしょうか。その料理に合わせたお酒も折角だから一般家庭には手に入りにくい、幻の酒といわれているような本物の美味しいお酒をお出ししているのです」と語る。

なるほどどれも吟醸酒の限定本だ。これらは造り酒屋のご主人が丹精込めたお酒で、娘を嫁にやる時に出不さない涙も、酒の出荷時には思わず涙ぐむという逸品。返盆飲みや一気飲みではバチがあたるというもの。

馳走では食前には酸度が低く、さらっとした立山、食間には腰があり、切れ味の良い菊姫、白瀧、梅錦等、料理の仕上げにはまったく味わいの日本酒のロマネコンティと言われている雪中梅や浦霞、という具合に出される。どれもご主人が雑誌で研究し、お客さんからの情報や自分の舌で確認した銘柄だ。

半田さんの言葉は続く、
「今後、酒倉にぜひお願いしたいことは、ラベルに米の産地、発酵日数、酸度表示等の明記ですね。それと、料理人と酒倉が協力し合って美味しいお酒をつくってほしいですね。外国にはポール・ボキューズのワインとかレストランオリジナルのワインがあります。私は「馳走」独自の酒を今年中につくりたいと思っています」

料理屋で一番大切なのは材料の吟味、そして創意工夫、そして良いお客さまで、と店主は言葉を結んだ。

■酒特集(1)酒を愛する神戸っ子たち
かる ちゃーぎけ

軽馳酒

ワインは人を 自由にする



コウベ・ワイン・セラー今井商店の地下ワイン倉庫には約1,300種類のワインが収蔵されている。

ワインは、自由人に愛される。

今井拓雄さん(嶺今井商店代表)は、ワイン通として知られている。酒類販売を営む一方、六年前から神戸ワインサロンを主宰、ワインを、というより「ワイン文化」を神戸に根づかせた仕掛人その人。なのに、自身は酒を飲まない。だからこそ、仕掛けられた、ともいえる。その今井さんの弁。

「ワインの飲み方に『型』はありません。それぞれの楽しみ方だと思います。ワインに凝り固まって深く奥義を極めるのも一つ、ワインにまつわる歴史・社会・風土などに興味をもち、ワインを媒介として知的好奇心を満足させるのも一つ」。神戸ワインクラブは後者に属する。会員は約四十名。月一回の例会では、毎回、「珍品」が紹介され、幅広い話の輪が広がる。つまり、ワイン十会話Ⅱサムシングの、サムシングに本領がある。これまでに紹介されたワインの種類は五百以上。

「ワインの飲み方に講釈は不要ですよ。最近では日本でも、ビールで咽喉の渴きをいやすようにワインを飲む人も出て来ています。むしろ、こういう飲み方が本流かも知れませんね、ヨーロッパでは。ワインを日常の飲み物と考える下地が出来ていますからね。日本の場合には、まるで「ワイン道」というか、まさに「入門」するみたいないところがありますね。入り方はどうでも、日常的に気楽に飲みながら、その中で自分なりの楽しみ方を身につけるのが一番いいですよ」。

水がわりに飲むのもいい、一杯のワインを味わい尽くすのもいい。TPOに合わせてその両方が出来てこそ真のワイン通といえる。

ワインは、自由に飲むことだ。

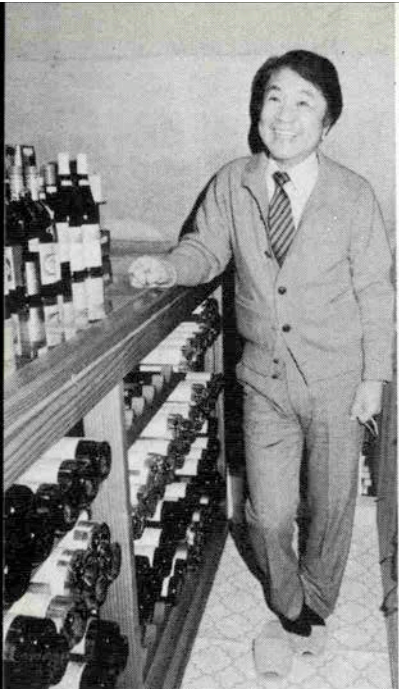
■酒特集(1)酒を愛する神戸っ子たち

わ い わ い ぞけ

我意我意酒

垣谷邸の

重宝なワインセラー



傾斜を利用したワインセラーは将来拡張の予定。神戸の街が一望できるリビングルームでワインを楽しむ垣谷夫妻。

垣谷家は、いつも賑やかだ。二、三十名が集まり、板前さんを出張させての天ぷらパーティ、ふぐパーティ、夏はもちろんバーベキューパーティといろんな趣向のホームパーティが年中開かれる。その都度、ワインも二十本近く抜かれるという豪快さ。

市内で石油会社他の自営業を営む垣谷道彦さんが、ここ住吉台に家建てたのは約五年前。一六〇坪の敷地は二〇〇m余りの標高があり、全面窓ガラスの応接間に通されるとその素晴らしい眺望にまず息を呑む。眼下に神戸の街並みやポートアイランド、見渡せば六甲山頂も……。視界全てがご馳走なのに、斜面を利用して地下に作られたワインセラーには五百本余りのワインが眠っているとは。

「上等のワインはないんですよ。私はたくさん飲めないし、きつい酒もダメでね。安いワインでも、料理と一緒に皆でワイワイやりながら楽しむとおいしいんですよ」

パーティを開くとなると手先が器用な垣谷さん自ら甲斐甲斐しく準備にとりかかる。テーブルセットや食器類も多人数分揃えられ、カラオケセットも準備OK。垣谷さん自身が五年がかりで設計したというだけあって、家の中はいたって使い勝手が良さそうだ。ワインセラーは当初の計画に無かったが、階段下の空間をうまく利用して、温度調整付のワインセラーができあがった。

「一昨年、初孫が誕生しましてね、その年のワインが今年あたりでできと思うので、残しておこうと思います。何か記念の年のものを残していける楽しみもワインならではの、でしょう」垣谷家では楽しんで飲んでこそお酒の効用があるというものだ。

夢 憧 酒

だから。
立川クンチのパーティは
おもしろいのだ



立川さんのチのパーティに集った面々。中央立川夫妻を囲んで。午後4時～深夜迄パーティは続いた。

「コーヒー代を払うより、ビールの小瓶を飲んだ方が美味しい」とのたまう立川赫造さん(竹馬産業R Kユニフォーム企画課主任部長)の結婚する時の夢は、コタツの中で女房と差しつさされつ……と思っていたら、何と一滴も飲めないお嫁さんと職場結婚してしまった。

今もごひいきの三宮の「若竹」と、「猩々」に通っては、6月・12月のボーナスの頃はつぎ込んでいたという豪傑。お嫁さんを「猩々」へ2カ月間開店前の準備タイムに通わせて、口に合うスタとか小芋の煮っころがしなどぞを稽古させて、料理修業をさせたそう。次なる夢は、我が家を建てる時にリビングルームを必ずやデラックスなホームバーにしようと思念じたのが、やっと3年前に完成したまず広さは12畳。「トム・キャンティ」の櫛マスターに相談して案を練り、設計は親友のデザイナー宮下さん。

スペンダー2基、プレイヤー・テクニクスアンブチユナー・ラックス、カセットデッキ・ソニー。そして100エンを入れんでも歌えるカラオケ400曲、二重防音だから精一杯大声で歌える。バーのお酒は100本。だからこのリッチで気楽な立川クンチのパーティには底抜けに楽しいメンバーが多士彩々で集まってくるのだ。彼はまた神戸ローンテニスクラブのメンバーだから毎日、テニスの素振りのあと風呂へ入り、夏ならビールの中瓶2本、水割ロックハイWで2杯が日課である。

「酒が美味しいのはわが家。」

好きなときに、好きな体位で、好きな酒が飲めるでしょう。それに仕事の利害関係はないし、妻や三人の子供たちは皆んなぼくを愛してくれているんだものネ(笑)」

■酒特集(1)酒を愛する神戸っ子たち

えん か ざけ

富飲酒

“はじめに
酒ありき”



竹中はいま、(極楽の暮しちゃうか)と思う。何より、酒を飲むときに誰にも何も、いわれないのがいい。

竹中の好きな飲みかたは、安もんのウイスキーを、生のまま小さいグラスに入れ、べつにタンブラーに氷水を入れておいて、かわりばんこに舌を濡らすというやりかたである。

ウイスキーは、上等を飲むと、やっぱりうまいと思うが、ふだん無造作に飲むときは(安もんでええ)と竹中は思っている。

「そんな濃いもん飲んでいたら、胃イ悪うするやないの」

とたまが来て見答めていたが、

「別案あらへん、胃イへはいつたら薄うなってる」と竹中はいう。

× × × × ×

田辺聖子さんの新刊「はじめに慈悲ありき」(文芸春秋社刊950円)の文章である。

何という中年の男らしい辛口の飲み方であろうか。まことに関西の男はらしい。

神戸の酒徒番附の西の横綱に今年も推されたお聖さんは、昨年暮れの12月25日、吉田日出子の「上海バンスキング」を、神戸文化ホールへ、ご主人のカモカのおっちゃん(川野純夫氏)と共に観覧し、お二人の招待者と共にトア・ロードの「ファースト・パブ」のクリスマスパーティーに現われた。お聖さんは「私のうちは、大家族でね、父親が酒呑みでおじいちゃんも大酒呑み。母かたのおじいちゃんも酒呑みで、何かという皆集まって飲んだり、食べたりが大好きなんよ。だから今も皆で一緒にワイワイ酒やね」。酒飲み男たちと共に育まれたお聖さん。

「はじめに酒呑みありき」である。



トア・ロードのファーストパブでカモカのおっちゃんとお聖さんを囲んだ仲間たち。おしどりコンビで「瀬戸の花嫁」



杜氏とは、酒を造る職人の頭ですが、酒造りの職人を総称して杜氏と呼ぶこともあります。杜氏の出身地、兵庫県丹波地方は、日本最大の杜氏出身地で、江戸時代宝暦年間における記録が残されているほど。その丹波出身の杜氏の手によって銘酒・小鼓は醸造されています。
兵庫県氷上郡市島町中竹田 合名会社 西山酒造場 ☎07958(6)0331



但馬は、兵庫県北部地方に位置し、冬季は山里で2メートルの積雪をみることもまれではありません。現在約2000人の季節酒造工が全国の酒造場で日本酒の生産に励んでいます。香住鶴の石津六郎翁は但馬杜氏の優秀な技術と伝統を受け継ぎ、労働大臣賞を受賞した名杜氏です。
兵庫県城崎郡香住町森 香住酒造有限会社 ☎07963(6)0029



LÖWENBRÄU

い ま バ イ エ ル ン ブ ル ー。



左から
レーベンブロイ缶350ml
レーベンブロイ缶500ml
レーベンブロイびん350ml

※お願いうぐんのお取扱いやさしく、日なたや倒れやすいところには置かないでください。

ドイツが生んだ世界のビール 国

レーベンブロイ

アサヒビール株式会社

附番徒酒户神

[illegible]



■酒特集

'85神戸酒徒番附選考座談会 若手の台頭めざましい十両勢

(審査員)

●東／経済人

木下
西宮
月岡

健
章
清市

(三富商店社長)

(大工建設社長)

(月岡倉庫社長)

恒例の神戸酒徒番附選考。まず、東／経済人／からお願ひします。業績面はむろんのこと、酒品そして酒量、この三点を加味し選考していただきたいと思ひます。

★安泰の上位三役

C 横綱候補は昨年同様、田崎真珠の田崎俊作。本社の文化イベントも立派だし動かさずだネ。

A 昨年は藍綬褒章を受賞しているしね。

C ワールドの畑崎廣敏だが、ワールド記念ホールが昨年完成し、文化面に大きな功績を残した。柿落としての「コスモポリス」で注目を集めたのも記憶に新しいし、張出横綱の座は動かない。

B 上島珈琲の上島達司だが、ユニバーシアードオフィシャルスポンサーになったり、今年開催の筑波博に出展したりと意欲的な活動を続けている。張出横綱だ。

C 神戸ポートピアホテルの中内力は新館建設を予定し、意気盛んだ。

A 樽本産業の樽本久は堅実な業績なので張出大関だよ。

B 風月堂の下村光治もファッショントウンへ進出。六月竣工だ。

A ジャヴァアの細川数夫は業績が急上昇している。

C 森本倉庫の森本禎二は現状維持というところだね。

A 島文工業の島田文六は東京で

飲むことが多くてちよつと寂しい気がするけど、酒品、量ともに関脇にふさわしいね。

B 三役は全く移動させることができない。まさに実力伯仲だ。

★前頭は白熱した議論を展開

A 昨年張出小結のキムラタンの木村豊は現在体調を崩して土俵にあげられない。

B 彼は休場ということにしよう
A でも早く体を治して復帰してもらいたい。

B そうだね。昨年も業績の良かった伊藤ハムの伊藤研一を彼の後任に。

A 淡路屋の寺本滉は、ワイン弁当を新発売したり、相変わらぬ活躍。昨年同様、張出小結だ。

B カワノの河野忠博は、昨秋、北野に小売店「アルカンシエル」をオープン。小結で安泰。

A ところで前頭はかなり動きそうだ。

C シャルレの林雅晴は無店舗販売で売り上げが急上昇しているから川西倉庫の川西章二の次に。

A 沢の鶴酒造新社長に就任した西村隆治が林に続く。

B 番付の中に医者が不在なんだけど、このあたりで一人ぐらいいてもいい。

B 今、最も深刻な問題として取り上げられている高齢者問題と熱心に取り組んでいる海岸病院の医



木下 健 さん

師小倉一を田村商会の田村厚の次に入れたい。

A その次に僕は昨年審査員を務めていた宮田組の宮田嘉夫を返り咲かせたい。

C トアロードにケーブルカー・バスを走らせて市民を楽しました昨年度神戸J.C理事長の尤昭福を前頭にぜひとも格上げだ。



西宮 章泰 さん

B それには文句ない。ケーブルカーはすごいアイデアだったね。

A あと前頭勢はどうだろう。
B 筆頭は変わらずノザワの野澤太一郎だ。文化セミナーを開くなど文化的な活動も評価できる。

C 淡路フェリーの井植貞雄も業績がいい。小林桂の小林博司、つるや衣裳店の島田光夫も、順当な



月岡 清市 さん

ところだろう。

A 真珠業界は昨年も好況だった木下真珠の木下章夫、森真珠の森隆も地場産業として頑張った。

B 製菓ではゴンチャロフ製菓の光葉貞男、ベルの東中弘吉が安泰というところだね。

C あと弁護士のア部清治も前頭中ほどで頑張ってもらおうか。

★若手が台頭した十両勢

B 十両筆頭は白鶴酒造新社長に就任した嘉納秀郎だ。

C 六甲パターの塚本哲夫も新社長に就任したね。

B これを機にもっと積極的に社交の世界に入ってくれば、もっと上位進出も期待できる。

A 今年の活躍に注目すべきだねそれから新社長といえば神栄石野証券の石野喜一も忘れてならない

C 本年度神戸J.C理事長の中尾襄は、今年の活躍を期待して一つ前進。

B ファッションタウンで頑張っているコスモポリタンのV・モロゾフも番附に新たに加えた。

A 角田内外国特許事務所の角田嘉宏もよく飲んでるね。弁理士という仕事にも注目したい。

C 若手でアクティブなのがタカハシパールの高橋洋三だ。「真珠の街神戸を考えるプロジェクト会議」のリーダーであり、神戸ヒゲクラブの主宰者でもある。

B サン・コトブキ新社長の細谷俊雄も将来が楽しみなので、北野商業連合会長の三浦明定の次に。

A ワイン文化の火付け役となったのが今井酒店の今井拓雄だ。

B 北野町で最近ユニークな活動で注目を集めているのがパビロンの打間奈津子だ。

C 高嶋酒類食品の高嶋良平新社長は、若いのにしっかりしている

A その次には神戸J.C専務理事の役職にあった金榮俊成がいいね
B 忘れていけないのは、取組場所としてのふらんの浦野久子、トムキャンティの神晴夫。

C そして最後はM.A.Cの植村孝一だ。新アーケードが完成したセンター街の若手として頑張っている、例のケーブルカーのときにはその直接の担当になっていた。

——では、次に三賞の選考に移りたいと思います。

A 殊勲賞はパールシティコウベの高橋洋三だね。

C 彼は一昨年度「真珠の街神戸を考えるプロジェクトチーム」でブルーメール賞を受けている。

B 業績急上昇とファッショントウンにユニークな本社ビルを建設した林雅晴に技能賞を授けたい。

A 敢闘賞は神戸J.C理事長で、トアロードにケーブルカーを走らせる運動で市民文化に大きな成果を残した尤昭福だね。△敬称略▽



■酒特集

’85神戸酒徒番附選考座談会

拡がりつつある仕事、酒のエリア

〈審査員〉

●西／文化人

基 井 有
郎 野 草
明 則 武

〈神戸新聞社編集委員〉

〈神戸新聞社学芸部〉

〈建築家〉

— それでは次に、大いに酒を飲み、かついい仕事をされた方、ということで文化人（西）の神戸酒徒番附の選考をお願いします。

A 選考を迎えた「チュー太郎の会」のパーティでは、中西勝、陳舜臣とか、まだまだ酒徒番附定年の人が神戸では頑張っている。若い人達が、もともと伸びてきて層が厚くなると、楽しみだね。

C 飲む場所も六甲、岡本と、広がっていますけど、「しゃねる」のパーティみたいに、神戸の文化人がワァーと集まって、大いに飲み語り、さらにいい仕事へのエネルギーを貯わえて欲しい。

★充実している小説、造形部門
B 上から見ていくと、田辺聖子の横綱は動かずですね。

A 男性ファンも多い。自分なりの仕上げの時期にきているように、筆が慎重になっている。地方の部分がジワッと底上げしてきた感じ。

C 鴨居玲は、金沢で姉弟展をやった、向こうですごく人気。四回入院しながら毎月描いていますし、飲む方でも鳴らしている。

B 美術家野球の運営委員長で、行動力もある。横綱鴨居健在。

A 三枝和子は、去年ほど傑出したものはないですが、安定しているし、凄みがある。

C 筒井康隆は芝居もやっている

し、神戸の小説部門はなかなかハイレベルですね。

A 望月美佐は、アメリカに行くようで、今年の方が期待できる

C 山口牧生は、アトリエが10月に新しく出来ましたし、個展も大阪でやった。旭川にも大きな彫刻を飾りましたし、今年はなかなかの活躍ですね。

B 環境造形Qは、神戸市の文化賞を受賞したけれども、個々のいい仕事は昨年は多かったですね。

C 小林陸一郎が、今回、西宮のテント美術展を中心にやっていた増田正和も大阪で出品していた

A 造形部門の充実はなかなかのものだね。斉藤智もこれから。新谷瑛紀、英子の彫刻もいい景觀になっている。傑出した働きをしたということで、山口牧生を張出横綱に挙げたいね。

C 去年は審査員ということではずれていたんですが、嶋田勝次は、飲む方も含めて、今年はよく頑張っていましたね。嶋田が設計した建物が建築文化賞に選ばれました。

B 張出大関に復活してもいい。

A 谷川浩司は、名人位の防衛もしたことだし、アップだね。

C 内藤国雄とか、将棋で良い人が多い。森安秀光も永久棋士です。

A 多田智満子は、全国的にファ



草野拓郎さん

ンが広がりがつつある。「花の神話学」もなかなか充実していた。

B 安永稔和は、昨年、井植文化賞を受賞しましたし、「神戸の詩人たち」をまとめる仕事も、地道でいい仕事でした。

A 今年は、内容的に見て多田智満子より上でもいいね。野口武彦は今年も本を出していた。



有井 基さん

C 末広光夫も、神戸ならではのジャズストリートを続けている。

B 彼の頑張りが、北野のにぎわいにつながっているだろうね。

A 村上翔雲もいい個展をしているね。「人磨呂」もよかったけど「柳宗悦」は、さらに一つ抜けていい仕事だったね。

★実を結ぶ地道な仕事



武田則明さん

C 文化ホールの岡田美代も退職してフリーで演出の仕事を始めようで、酒徒番附に登場させたい。

B 神戸の五流能や井筒会のお世話を長い間やっていましたね。

A 今岡頤子舞踊団やKFMのフアッションショーの演出も評価されている。

B 堀尾貞治も頑張っていますね。東門画廊でこれまでやってきた業績を、本にまとめて出す予定

C 「ほんくら」も10周年を迎えましたし、よくやっていますね。

A 石阪春生の「オール関西」の表紙カラージュは素晴らしい。彼の場合は楽しいお酒だ。

B 池上忠治が「フランスの美術」という本を出しました。

C 松本宏は、個展を見ますと作品の方向が変わってきた感じがです

B “行動美術”を抜けたりして激動の一年。声楽の松本幸三も相変らずの飲みっぷり。知念正文も洋画の中堅として頑張っている

A 海文堂の島田誠が、元町の馬券売り場反対運動など「元町の文化と伝統を守る会」を作って、一つの方向に持っていたのは功績

C 神戸コンサート協会の中筋栄一も、音楽の方の世話をよくやっている。朝比奈千足も神戸フィルで頑張っている。

B シアターボシエットの佐本進も、神戸からのミニ発信で頑張っているし、ピアノリストの伊藤ルミ

も奉仕的な仕事が多い。夏目俊二も風月堂ホールでコメディの舞台を定着させている。放送界では小山乃里子、村上和子が代表選手。

C フアッション界では、中西省伍が、トアロードに山手会を作って、まとめ役になった。三村照雄は、学生監督映画「セピア・タウ

ン」のプロデュースや、映画記念碑の運動で頑張っていますね。大森一樹も「ユー・ガッタ・チャンス」を撮った。

A 能の方では藤井徳三が能楽協会神戸支部の常議員を務めている。久田徹二も着実に伸びてきた

C 堀江珠喜の「世紀末御伽草子」もなかなかおもしろい。ノンフィクションの佐藤早苗も健在。岡田淳も良い物を描いているし、個展を開いて欲しい。

★殊勲賞は岡田美代にノ、
A 三賞の選考に入ると、殊勲賞は岡田美代かな。大舞台で地道にいい仕事を積み上げてきたからね

B 敢闘賞は、美術家が集まる「ほんくら」を守り続けている、堀尾貞治にあげたいなあ。

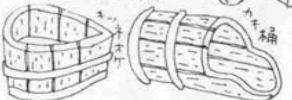
C 佐本進が、岡田とは違った色合いで、神戸の文化の縁の下で力持ちをやっているし、福祉の方でも地味な仕事を続けていて、そういう意味で技能賞にピッタリ。

B これでどうにか落ち着いたねなかなか新しい人も入ったよう

酒蔵ウォーキングマップ



旧西国街道の名残り
西方寺に往影の松
の碑があります。

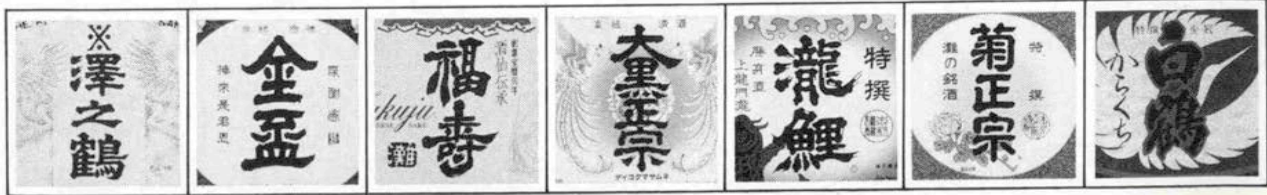


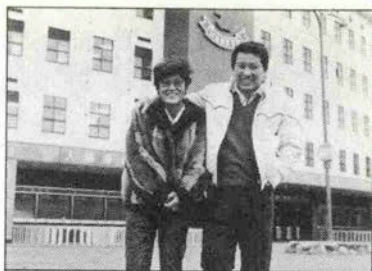
沢之鶴資料館

昔の酒つくりの道具や
工程を、古い蔵に展示。
見学ができます。

西郷

御影郷





小山乃里子の
華麗なる男のインタビュー

■第2回

藤田浩雅捕手(阪急ブレーブス)

投手の気持ちが わかる女房役に

の人たちにリードしていただいたみたいないなもんでした。

山田さんなんか、テレビでしか見たことがない大投手ですから、最初を受けるだけで緊張しましたもん(笑)。

若いんだ(笑)。何年のドラフトだっけ。

藤田 57年の3位です。1位がPLの榎田でした……。

阪神は全然来ませんでした(笑)。法政の木戸(捕手)一本槍でしたから。

阪神に入ったらつぶされる(笑)。

藤田 向こうが1位だったから絶対負けるもんかと思いましたが。木戸はエリートコース(PL-法政)で、こ

っちは無名(御殿場西高-関東自動車)でしたから……。でも期待度がない分だけ気楽にやれるところもありましたけど。期待されるとプレッシャーもありますからね。

——今日アナタに会うといったら、朝日放送の道上アナがぜひ阪神に来てくれと言ってた(笑)。

藤田 ドラフトの順位なんて最初だけですからね。

——そうよね。フクさん(福本選手)だって7位ぐらいでしょ。やっぱり「なにくそ」ってやるんでしょうね。

藤田 ええ、そうすね。

——ドラフトで指名されてすんなり入団したの？

藤田 ハイ。社会人の二年目のときにスカウトの三輪田さんがよくちよく見えられて、いい人だなと思ってましたから腹中で阪急と決めてました。他の球団、特に

阪急ブレーブス、藤田浩雅捕手(23)。昭和59年度バリーグ新人王。昭和57年ドラフト3位で関東自動車から入

団。今シーズンの成績は打率2割8分7厘。本塁打22本、69打点。昨秋結婚したばかりの新ヒーローである。

★ドラフトの順位は最初だけ。入団してからの実績

——阪急ファンとしては去年は最高のシーズンだった。

日本シリーズは残念だったけど。

藤田 そうすね。残念だったです。

——でも藤田君は新人王。おめでとう。

藤田 ありがとうございます。

——去年の春先のキャンプから上田監督は「藤田、藤田」だったもんね。

藤田 キャンプ、そしてオープン戦と調子がよかったから、ひよっとしたとは思っていたけど。一軍の試合にあらがったのがおとしの8月からで、まだ実績がないから自信がないといえなかったですね。ただ期待されているのがわかりましたから頑張るなきやと思いましたけど。

——自信があるとすれば何だったの？バッティング？

藤田 いやア、バッティングも守りも自信なかったすね。肩だけでしたね、自信は。最初は全然打てなくて、一度、監督にフォームをいじってもらったら、その日に日生球場の近鉄戦でホームラン2本、翌日、西宮の日本ハム戦で2本打ってそれからでした。守りの方はピッチャー



「ドラフトの順位は最初だけ、負けるもんかの気持ちでがんばった」と藤田選手

広島なんか熱心でしたけど、「もう一年社会人でやるから」といって断わってんです。今、明かす本音です(笑)——エライ! (笑)。すると阪急ファンだったの?

藤田 イヤア、やっぱり巨人でした。郷里が静岡なもんから、巨人の影響が強いですよね。でも僕がナマのプロ野球を見たのが小学六年のときの修学旅行で、阪急—日拓(現日本ハム)戦でした。試合の勝ち負けは覚えてないんですが、「福本!」と声をかけたら、福本さんがこっちを向いて手を振ってくれたのを覚えています。

——やっぱりフクさんだなあ。フクさんは常々「子供は大事にしなきゃあ」と言ってるもんね。そんなことがきっかけでズーっとファンになってくれるんだからね。

藤田 僕のところにも子供からファンレターが来たりするんですけど、鉛筆でいかにも小学生という字で書いてきて、時には往復葉書で来たりして(笑)、やっぱりちゃんとサインして返事を出しますね。

——ちなみに女性からのファンレターはどう?

藤田 昨年は結構来ました(笑)。週に10通ぐらいは来て

ましたけど、婚約発表したとたんにピタッと止まりました(爆笑)。

——どうもファンレターじゃないね(笑)。私なんか阪急ファン拡張委員みたいなモンだから、イロイロ頑張ってるけど……。でもやっぱりギャルを集めるには若い独身のスターを作らないとね。それにしてもこのオフは阪急は結婚ラッシュだったね。

藤田 僕でしよ、山沖さん、森、松本祥二さん……。

——野球選手は24歳ぐらいで結婚しちゃうものね。

★ピッチャーの気持ちかわかるキャッチャーに

——広島との日本シリーズはどうだったの? アガった? 藤田 やっぱりアガりました。試合前はそうでもなかったんですけど、試合になると手が動かない感じで、何してたのか全然わからなかったです。さすがに独特の雰囲気ですからね。

——ブーマーも打てなかったもんね。

藤田 かなり内角を攻められましたからね。打てないとやっぱり焦りも出てきますし……。



ホームランか、三振か、大いにもめた問題のシーン。

んが打球を足に当てたとき「グラブに当てなきゃ駄目だろ、投手だって投げ終わった後は10番目の野手なんだから」(笑)。

「かわいそうに、痛い思いしてんの」(笑)。

藤田 松永さんは飲むと酒乱の気もあるし(笑)。おもしろい人です。

——でも怪我は怖いわけ。

藤田 去年は開幕戦で水谷さんがデッドボールを頭に受けて一年間棒に振りましたしね。

僕は怪我をすると引退になりかねないですからね。

力が衰えての引退なら納得もできますけど、バリバリやっていると怪我をしてやめるとなると最悪ですからね。そのかわり、働けば働くほどお金になる世界ですから魅力もありますけど。

——契約更改は？

藤田 年を越しましたけど。小早川(広島、セリーグ新人王)の数字と比較もしましたけど。

——私もフリーでやってるから、放送局に希望の数字を出すギャンラ会議なんかあるんだけど、「今回はこの線を譲れません」と言ったら「ブーマーみたいだ」と言われたりして(笑)。

藤田 監督にも「キャッチャーは他の野手と違うポジションだから考慮してもらえ」と言われました。これからどんな実績をつけないかと思ってます。

——さて今年の目標は？

藤田 100試合以上出て、規定打席には達して2割8分点は打りたいですね。

——それと優勝とね。今年も高知のキャンプに応援に行くからね。

藤田 ハイ、がんばります。

(西宮球場前、土筆苑にて)

ペナントレースから選手権まで二週間くらいありましたよ。ピッチャーはいいんですけど、野手はバッティングの坎を戻すのがなかなか難しいですし。——キャッチャーもまた大変な仕事ですよ。

藤田 ハイ。怪我も多いですね。南海の香川が言っていましたけど「ブーマーがスライディングしてきたら怖いワ」って(笑)。

——同じチームでよかったと(笑)。

藤田 それから、ピッチャーの人が調子悪くなったんでマウンドに行くでしょ、でも年上の人が多いから何にも言えなくて、「ナンダ?」「イエ、がんばりましょう」。

ただ「がんばりましょう」だけを言って戻る(笑)。
「ハハハハ。ほんとにそれだけ(笑)。マウンドに行つて何しやべってるのかと思つてたけど……」。

藤田 同じ歳や後輩だとイロイロ言えますけどね。キャッチャーは女房役ですから、ピッチャーの気持ちを探れないといけないんですけど、まだ自分のことで精一杯ですから。

——キャッチャーは技術だけじゃないもんね。野手なんかはマウンドに集まってなんって言ってるの。

藤田 そうですね、松永(三塁手)さんなんかは言いたいこと言いますよ。西武球場のときでしたけど、山沖さ

Most Beautiful Quality Life



創業明治十六年

金 柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 TEL(078)341-0693
大阪・高麗橋2丁目 TEL(06) 231-2106

St. Valentine's Day

幸せを…
あなたと共に…



あなたの——

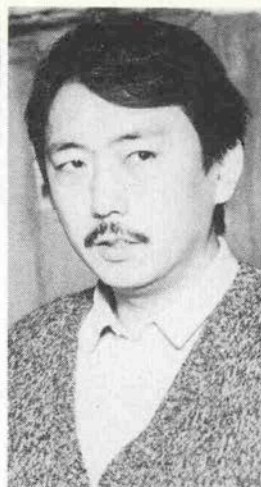
まごころを伝える
バレンタインのプレゼント
今年もバラエティー豊かに

北 欧 の 銘 菓

ユーハイム・コンフェクト

■本社 工場 船内店 神戸市中央区船内町1-8 TEL 221-1164

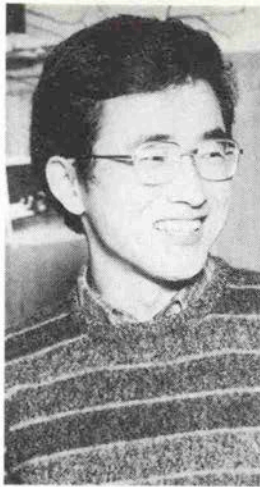
若い感性と実行力で 「アイラヴKOBEB」を



宇津 誠二 さん



加藤 裕三 さん



笹倉 徹 さん

□出席者□

宇津 誠二 〈フリーランサー〉
〈VIEWオーナー〉

加藤 裕三 〈御遊プラン・デザイナー〉
〈木芸〉

笹倉 徹 〈映画監督〉

白羽 弥仁 〈映画監督〉

杉山 知子 〈絵画〉

取坂由起子 〈セビータウン主演女優〉

西村 裕夫 〈陶芸〉

東田 輝幸 〈インターナショナルフリーマー
ケット連盟、コウベシティウ
エーヴプランナー〉

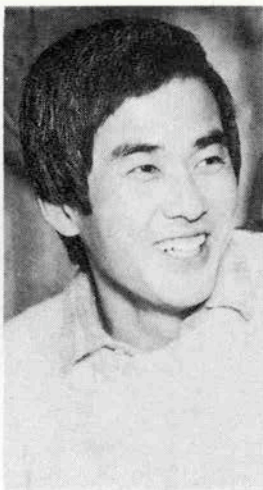
— 都市は常に変化を続ける生きもののような部分があると言われます。今回は、神戸を中心にさまざまな分野で活動をしている若い世代の代表者にお集まりいただき、自由な夢と感性の煌めきあふれるお話をお願いします。

★阪神間は「遊空間」

東田 僕はプランニングがメインなんです、企業CIから学生イベントまで、とにかく何でもやるわけです。だから「何でも屋」が仕事でして(笑)、今までレゲエコ



東田 輝幸 さん



西村 裕夫 さん



取坂由起子 さん



杉山 知子 さん



白羽 弥仁 さん

ンサートとか、フリーマーケットを手がけてきました。
2年前にインターナショナル・フリーマーケット連盟
をつくって僕は神戸を中心に活動しています。神戸とい
う街は、大阪に比べて商売にならない所なんですけど
(笑)、僕は個人的には変な魅力を感じていますね。僕の
出身は淡路なんですけど、神戸に住んで8年目になりま
す。僕にとって神戸はほんとかれへん街や、という気持
ちなんです。大阪や東京だったら、誰かがやりよるけ
ど、神戸は僕らががんばらないかんあと思っんです。
いつも何か面白いことができないかと考えてるんです
ね。最近はおもてなしの市民広場とサンバルでフ
リーマーケットをやったり須磨海岸でレゲエ大会とか、
もっともっと面白くしてやるぞと意気込んでます。

杉山 私は、ただひたすら作品をつくっているだけなん
です。テーマのようなものがあるとすれば愛とかやすら
ぎでしょうか。アトリエがちょうど神戸っ子の編集室近
くの高砂ビルの中にあって、このビルは古くて非常に頑
丈な建物で、私は神戸らしいなあと、とても気に入って
るんですよ。三宮のビジネス街にあって、オリエンタル
ホテルも見えるし、眺めそのものも神戸らしいんです。

白羽 僕は昨年、16ミリの映画「セピアタウン」をつく
りまして、神戸秋の芸術祭参加作品として、田崎ホール
で上映させていただきました。一時間以上の自主制作映
画は神戸では10年ぶりということで評判もよくて、とり
あえずはひと息ついたという感じです。僕は芦屋生まれ
で小学校に上がる前に神戸に移りました。「セピアタウ
ン」は神戸が舞台なんですけど、神戸へのこだわりのよう
なものが強烈にありますね。現在、日大の芸術学部在
籍していますが、東京と神戸を往き来していると、うま
く言えませんが自分の中の神戸ってものが、歴然と存
在していることを感じます。

取坂 映画「セピアタウン」の主演女優とか、肩書きが
ついてちゃって、私、そういうつもりでやったわけじゃな
かったから、あとでびっくりしているんです。今は大学

で幼児教育を専攻しているんですけど、どうやら映画の方が面白くなってきました。私は東灘生まれですと21年間住んでいます。

加藤 僕の仕事というのは、簡単にいえば「木のオモチャ」づくりですね。遊ブランは当初は3人のデザイナーが集まってやりはじめたんですが、今年はもう少しポルテージをあげたいと思っています。僕たちのメンバーで、倉敷の小黒三郎が盲学校で、いわゆる障害者の人たち、失礼ない方かもしれないけど、社会の中で陽の目をみない存在の人たちにもっと遊具を与えてさしあげたい、と考え、大手メーカーでは採算が合わないの手が出せないオモチャの世界に進出しようと言いつつ出したのが、この仕事のキッカケなんです。

僕は大阪生まれで、いわゆる団塊の世代、職業も両手両足の指で足りないほど転々としてました。そして、縁あって、信州の白馬へ行き、木彫を始めたのが、木との出会いです。木は自然のままで楽しいんだということを感じました。そのうち、子どもが生まれて、自分の子のために作った木のオモチャが、オモチャづくりのキッカケですね。

信州から南米へ渡り、帰ってきて、知人の先生からアトリエでもいるやろ、と声をかけていただき、昔屋で100坪の土地の中で個人的な作家活動に入りました。今年で5年になりますが、僕はもともと大阪の下町育ちですから、神戸昔屋はどうも空気がちがうなあと感じますね。サラッとしていて、適当に静かで情報も入りやすい。居る人間も常に流動していて、「巢」のような所へ帰っていく、いわば阪神間は、「遊空間」なんです。西村 私は陶器づくりの方なんです、いろんなことをやってみたい人間なんです。東田さんのようなブランニングの仕事にも興味津々だし、いろんなことをやっていきながら、たどりついたのが「土」の世界、陶器なんです。生まれたのは神戸なんです、淡路島15年、京都は3年、山梨3年、それに千葉にも住みました。私も加藤

さんとよく似ていて、ある種ジブシー的な部分がありまして(笑)、今は神戸の西区に定住していますもの、せめて心の中でだけでも放浪したいナアと思ってます。笹倉 今日の出席者の中で、いちばん保守的な仕事「木工芸」をやっています。仕事柄、今は多可郡という兵庫県の内なかに籠ってやっておりますが、個展を開くのはやはり神戸です。今日、いなかからはるばるやって参りましたのは、この座談会で神戸の若者といっしょに神戸の空気を吸って、ぜひ感覚をリフレッシュしたい、と意気こんでいます。

宇津 僕は「イラストレーター」という意識はあまりないんです。残念ながら、そう呼んでもらっても困るんですね(笑)。誰かの言葉では、フリーランサーが僕向きじゃないかと(笑)。神戸生まれの神戸育ち、神戸っ子でありながら、いつもどこかいとこないかないかと……。機会があれば神戸を飛びだしたろうと、ずっと考えてきましたね。学校を出てから、グンゼ株式会社で男物のパジャマのデザインをやりました。婦人物だったらまだよかったんですけど(笑)。そのあと、アメリカへ行きたくなくて。実は画家のノーマン・ロックウェルに憧れて、彼の暮らしていた町、ストックブリッジを訪ねてみたかったんです。僕はノーマン・ロックウェル原画美術館へ行き、ロックウェルと懇意だった画家のフランク・ジョーリンズさんに出会いました。アメリカのこの小さな町の人に私の胸の中にあるものを見ていただきたくて、日本語と英語を用いた絵本をつくったんです。その本はロックウェル原画美術館に置いてもらっていますが、私は絵描きというより、一応は絵を描くんですけど、絵のために絵を描くのではなく、文章があり、そのさし絵を描いてみたかったです。

★神戸の街に若者文化の波動をひきおこそう！

東田 僕はいろんなイベントをやっている関係から思うんですけど、神戸の都市全体の動き方というか、方向性

ら、ちがうだろう、と言いたいですよ。

というは少しずつだけいい方向へむかっているという気がしますね。しかし、みんなが願っていることを本当に実現しようとしたら、コストパフォーマンスの面でおりにあわないですよ。たとえば、三宮センター街も東から西まで一本にまとまればものすごく面白いだろうなと思います。新世代にとスタートを切ったわけですから、若いアイデアとパワーが団結したら、楽しいイベントだって夢じゃない。北野町のキタノファッションストリートも初めての企画だったんですが、私も少しお手伝いして、まずまずというところで、これに肉付けされていくときと素晴らしい、神戸らしさをもったイベントに育っていくでしょうね。昨年、暮れにジァヴァのファッションショーがあり、オレンジクラブとコウベシティ

ーウエーヴのタイアップで、大変いいのができたようです。やはり、企画がよければ、必ず盛りあがるものだなあと思いました。僕のいちばん気になっているのは、元町なんです。元町は伝統が110年もあり、昔から代々続いているオーナーが多いだけに、新世代へと移行ができません。老舗感覚は大切にする一方、「元町の文化と伝統を守る会」とか、いろんな動きがある中でも何か脱しきれない部分が気になっています。

杉山 私は自分が「神戸っ子」なんだ、というプライドのようなものがあって、それは独特の感じなんです。さきほど加藤さんの言われた阪神間の空気、「遊空間」みたいなものかもしれませんが、この感覚がいつも神戸の街を生きいきとさせているように思います。そして、世代的なものかもしれないけれど大学生や若い人たちはそんなものが失われてしまっているような気がしているんですよ。

白羽 神戸っ子としてのプライドという話ですが、僕はあえて自分が神戸っ子だと言わなければならないというのは悔しい気がするんです。東京には江戸っ子というのがいて、横浜には「浜っ子」がいる。日大に在籍しながら、僕は、神戸の洗練された格好を見てほしい、だか

加藤 僕は神戸の中にいて、やはりいつまでたっても異邦人だあって思っています。厳しいことを言えば、異邦人の立場でみて、「神戸っ子」とはブランドでも何でもなくて、内輪でわいわい言っているだけとも思うんです。

東田 神戸はハードな外ワクだけつくって東京の真似をするという悪い面がありますね。中身はとにかくあとからくっついて回る。そうじゃなくて、まず、中身が生まれて、そこから発想して外回りをつくらなければ。

加藤 「神戸っ子」のプライドというのは、その面で強く出してほしいね。杉山さんの言われる点はどうやらそのあたりじゃないですか。だから、僕らから見ると、つまり横から見ると、「神戸っ子」ってリキんでいるみたいな気がします。

白羽 神戸は水がうまいし、酒もうまい。水が素晴らしい街なのに、海を埋め立てる、山を削りすぎるわけですね。自然のロケーションが素晴らしいから「KOBÉ」だったのに、残念なことが多いです。

たとえば、先日、カメラのファインダーをのぞいていて、ハッと気づいたんですが、ずっと8ミリを撮ってきて、昔のフィルムを見たら、あの建物がすっかり消え失せてしまっているということが多すぎるんですよ。

六甲教会の向こうにあった会館が実に神戸らしいいい雰囲気をもたしていただいていたのまにやら、コンクリートのかたまりにすりかわってしまったって、これは映画づくりをやっているからというより、神戸っ子として神戸の財産を失ってしまう愚かしさに無性に腹が立つんですよ。京都のすべてとはいわないけど、京都のやり方を少しはみならってほしい。

取坂 日常的かもしれませんが、私はずっと岡本に住んでいて、岡本市場は子どもの時分からツツカケで買い物に出かけたものです。気軽に買い物かごをさげて、タッタッタといわゆる市場ムードで出かけましたね。ところが市場全体がすっかりきれいになって気どった雰囲気

の街になってしまったんです。他の所から来られる人が増えて悪くなったというわけじゃないんですが、母親に言わせると、ダイコン一本買いくにも、ノーマイクでは歩かれへんという感じ、犬の散歩も着替えて出かける、やはり、ちよっと神戸っ子としては不満なんですわ。

加藤 夙川にイカリスーパーってあるでしょう。僕は青屋に来てから、岡本も御影も昔から、イカリみたいな感じかなあとと思ってましたよ。ちがうんですね。

大阪の阿倍野区の間がイカリなんかみたら、あの小ぎれいな服装の買ひもの客はまさにカルチャーショックだった(笑)。

取坂 ツツカケ姿がカッコ悪いわけじゃないと思うんです。私はそういうふうにしていった周りの環境がイヤだなあと思う。周りからそうしないとオカシイ、ダメですというレッテルを貼っていくのは止めにしてほしいんですね。

21歳の私が感じるのはこの数年のうちに「神戸は変わったのダナア」、そして「街二出ニククナッタナア」というセリフですね。

西村 僕は神戸では三宮、元町、岡本、御影、六甲に住んだ経験がありますが、西区の電柱もない所に住んでようやく水を得た魚という感じがします。

やればやるほど、個性を失くしているのが神戸の一面という気がします。これだけは固執したい、という職人的なこだわりがほしいんですね。改装するというと全部が改装しようということになる、自分自身の考え方がもてないんだと思う。神戸の街の一つ一つがオリジナリティをもっと色濃く出してほしいですね。

笹倉 神戸という街は、京都とはちがって100年の伝統しかないわけだし、古きよきものを残すという方向よりも新しい感覚がどんどん先行していく方向がふさわしいと思います。

それはハイカラ精神と本当のオリジナリティだと言え

るわけですが、一方で、私が強く願っていることは神戸が緑だけは大切にする街であってほしい、ということですよ。開発は破壊でなく創造であるべきだし、それにはいつも「緑」が関わってほしい。

緑は、土であり、また水であって、行政サイドは緑を重視しているけれど、市民レベルでこのことを考え直す必要があると思うんですね。つまり、緑を守り育てることが市民にとっての心身の健康生活の源だということですよ。

また、このことを個人個人が主張できる街、神戸であって、その上での神戸っ子であってほしいんです。

白羽 僕は映画が好きで映画のことで恐縮ですけど、今神戸ではどんどん映画館が減っていつてます。ビッグ映画でさえ、名画座からロードショー化になってしましました。

神戸が映画発祥の地でありながら、僕は情けない思いですね。神戸だからこそ、何でも上映できる映画館がほしい、そこから文化と街づくりが始まったら素晴らしいと思います。若い感性が一堂に集まるスペースづくりこそ大切です。

加藤 ニューヨークで湧き起こった「アイラヴNY」のようなブームが神戸にも生まれてほしいんですよ。

最初は小さな波のうねりが遠心力をもってきて次第に大きなうねりとなって街全体に活気をもたらすんです。そのうねりをつくっていくのは、若い感性だと思っています。今まで思いもつかなかったような素晴らしいアイデアと実行力で、僕らもぜひ頑張りたいですね。

(北野坂のVIEWにて)

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL (078) 302-3321

株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

株式会社南インターナショナル

代表取締役 南 泰吉
神戸市中央区浜辺通5丁目1-14
神戸商工貿易センタービル1701
TEL (078) 232-1301

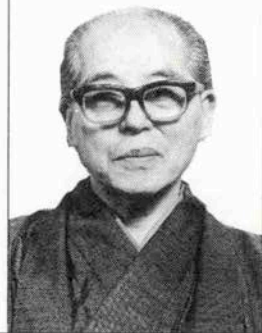


ビッグインタビュー

上村松篁

特別
対談

岸昌 VS フリッツ・フオス



今昔絵双紙〈10〉田辺聖子

絵／岡田嘉夫

小説太陽の発見者〈7〉阿部牧郎
上方味覚紀行「下鴨茶寮」楠本憲吉
海外作家
インタビュー
エバ・オシンスカ



特別寄稿……

瀬戸内寂聴

新しい関西を創造する総合雑誌 オール関西 2月号

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000)



スター
ハイライト
谷村新司

日本の宝との出会い「明日香村猿石」
空から見た造形美「知恩院」
美女登場「伊砂ゆみ子」

大阪の曲り角 ● 木津川 計

じゃばに「すぱりチュアル」 ● 石濱恒夫
創造の世界 ● 京セラ株式会社

誌上シンポジウム
ザ・カンサイ 6

創作 ● 第二回大阪女性文芸賞受賞作品

「海の見えない港町で」吉田典子

関西ニューメディア・エージ・タウンジャーナル／
西日本ホットライン／カルチャーカレンダー／今
月の健康／名医に聞く／パーティ＆シンポジウム
／マンガ・小島功の好色一代男／BOOKレビュー
／オラクル／エロチカ辞評／ヤングのページ／